



Donatella

トナチエオ・コラツリ・エ・カメオは、ヴェネチアのアナーの地で最も古い伝統のひとつのから生まれた芸術品である加工サンゴとカメオの製造・販売へ情熱をそそいだガエタノ・トナチエオによって、1885年に生まれました。

第一号店はおーストリアに、その後シチリアのタオルミーナとヒナガリにも店舗を構え、現在の本社であるエルコラーノのパラッツォ・チル・コラツリ(サンゴ館)のオーゾンに至ります。

ガエタノの息子であるマツテオがその家業を継ぎ、米國と極東の市場への導入に成功しました。

今日、事業はマツテオの娘達に引き継がれ、まさにこの分野の代表となり、毎年少なくとも百万人の来場者がここを訪れ、卓越した彫刻師たちの作品であるカメオを鑑賞することができます。



il Camaio カメオ

カメオとは、熟練の彫刻師によって制作された薄肉の浮き彫りで、芸術センスと非常に優れた技術を要する小さな傑作です。

今日、ここでの制作には主に二種類の貝が使われます。黄土色とオレンジ色のコルネリアンと、白色と茶色のサルトニクスです。

彫刻師はまず固さや色合いが適切な貝を選択し、それが“コッパ”と呼ばれる部分に切断します。これは貝が色の違った三層からなるため加工に適した唯一の方法です。

その後カメオになる断片は、加工・彫刻の台となる木製の枠に、あらかじめ温めた松ヤニと蠟を混ぜたもので固定されます。

そして芸術家は断片の表面に図柄を描いた後、太い彫刻刀を使って粗彫りを始めます。そして、細い彫刻刀で細部を彫ってゆきます。

彫刻作業が終わると、ペンダーの巧妙な一打でカメオは枠からはずされ、ツヤだしのためオイル槽につけられます。

我々の芸術家たちによって彫られたカメオは、その後、貴金屬細工職人によって貴重な宝飾品へと仕立てられます。

